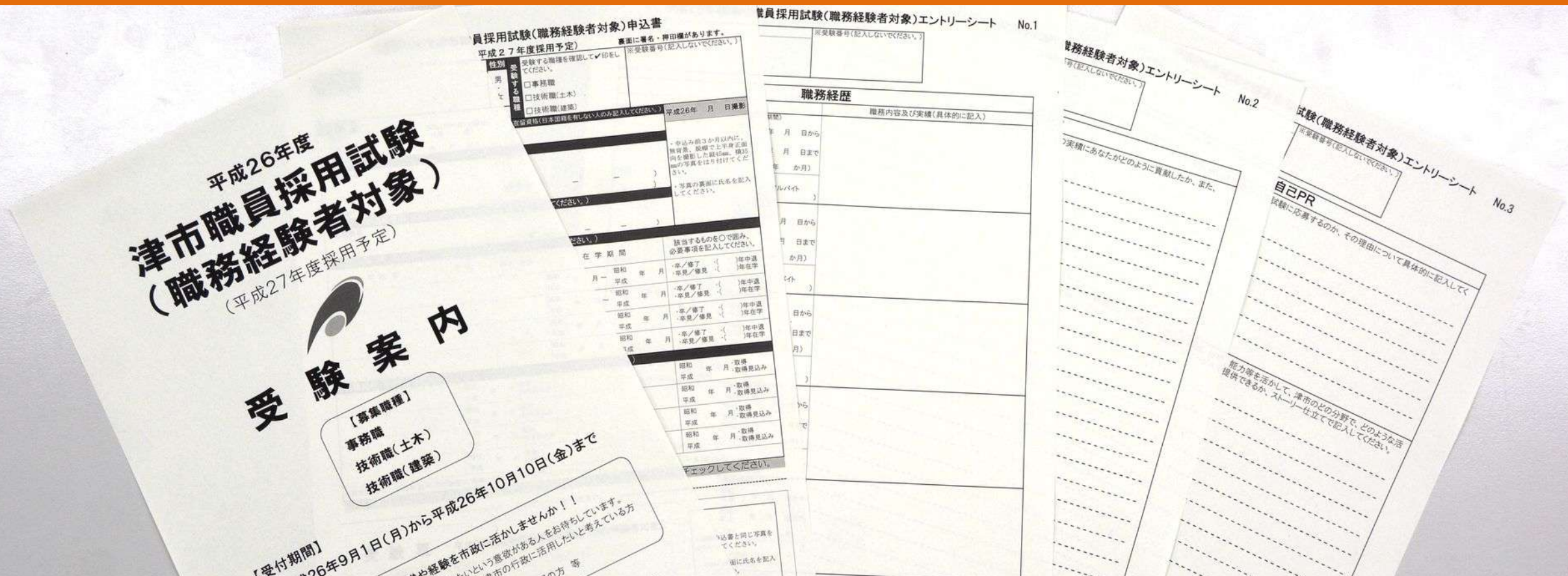


平成26年度職務経験者採用試験 申込結果について



平成26年11月4日

職務経験者採用試験導入の経緯

津市へのU・J・Iターン就職
や転職を望む声

新規職員採用試験には
年齢制限が存在

職務経験者採用試験の導入

幅広い年齢層の人が受験できる
ステップアップ・再チャレンジする機会を創出

津市におけるメリット

- ① 即戦力として活躍
- ② 多様化する行政ニーズへの対応
- ③ 組織力の強化・組織風土の活性化

市民サービスの
更なる向上

申込状況

10月10日(金) エントリーシート受付締切

募集職種	採用予定人数	申込者数	申込倍率
事務職	5人程度	402人	80倍
技術職(土木)	2人程度	27人	14倍
技術職(建築)	1人程度	16人	16倍

予想を
上回る応募

- ▶ 幅広い年齢層で、津市役所で働きたいという希望の多さ
- ▶ 津市の職務経験者採用への期待の大きさ

参考 新規職員採用試験申込状況

募集職種	採用予定人数	申込者数	申込倍率
事務職	50人程度	554人	11倍
技術職(土木)	5人程度	12人	2倍
技術職(建築)	5人程度	4人	1倍

新規職員採用
と比較しても
高い倍率

445人の申込者の思い

エントリーシートに記載された申込者の思い

- ▶ 地元(地域)の発展に貢献したい！
- ▶ 年齢に関わらず経験を生かして公務員になりたい！
- ▶ 培ってきた知識・技術を公共サービスに生かしたい！
- ▶ 津市が好き、津市が魅力的、津市に住みたい！
- ▶ 津市の政策に、まちづくりに携わりたい！

etc…

津市として、ステップアップに応えたい！

試験スケジュール

試験方法及び日程

第1次試験

エントリーシートによる書類選考

11月14日(金)10時、津市ホームページで結果発表

第2次試験

筆記試験

11月22日 土

口述試験(個人面接)

11月23日 日・祝

11月24日 月・休

第3次試験

口述試験(個人面接) 12月中旬(予定)

今後に向けて

たくさんの方の思いを、1人でも多く面接で聞かせていただきたい

職務経験者採用ならではの
有為かつ多様な人材を採用

最近の雇用情勢と
当市の人材確保に
マッチした制度として、
来年以降の継続実施
につなげる

地域の発展・市の成長には、**雇用**が大きな要素

新しいチャンスの創出を津市が先導！
ぜひ、民間もこうした機会の拡充を！



平成26年度 津市総合防災訓練



平成26年11月4日

平成26年度津市総合防災訓練日時・会場

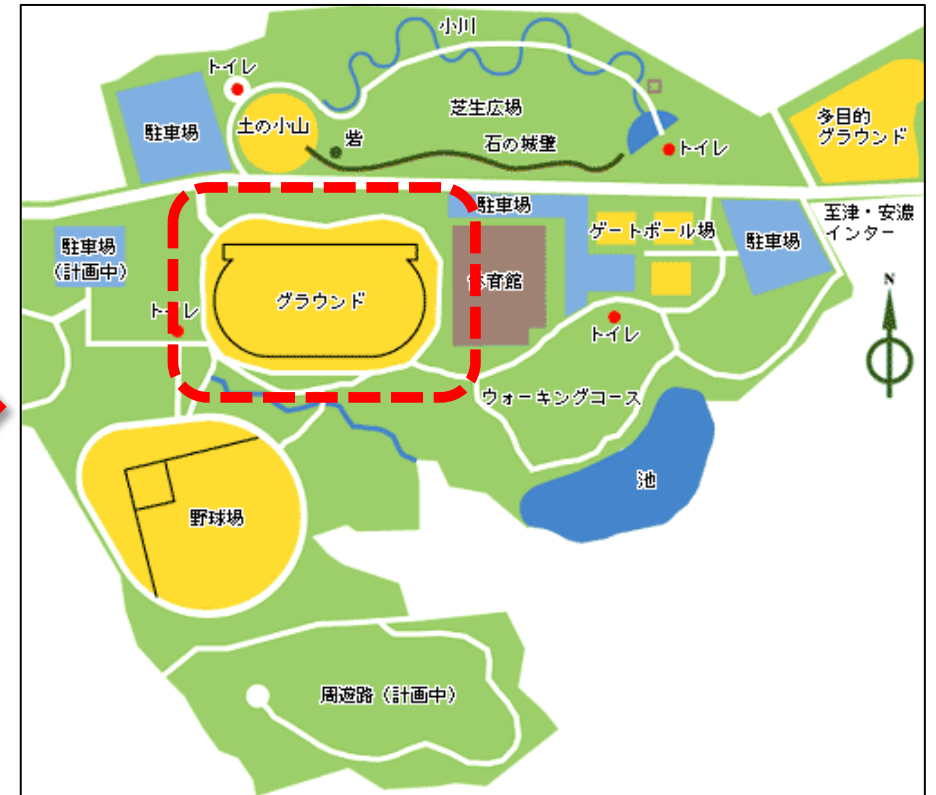
訓練日時

平成26年11月24日(月・休)9時～12時

※雨天決行(ただし、警報発令時は中止)

訓練会場

安濃中央総合公園
多目的グラウンド



平成26年度津市総合防災訓練の実施方針・特色

訓練実施方針

- ▶ 防災関係機関をはじめ、自主防災組織や民間企業、ボランティア、地域住民が役割分担し、相互に連携しながら、実際に災害が起きたときを想定した訓練を実施
- ▶ 訓練を通じて、地域の防災意識を高め、災害対応力を向上し、災害時の被害の軽減を目指す

訓練の特色

内陸丘陵部における
災害対応訓練

实际的・実践的な
防災訓練の実施

昨年度の意見を
反映した訓練

平成26年度津市総合防災訓練の特色

特色①

内陸丘陵部における災害対応訓練

本年度の訓練は、内陸部地震による**土砂災害等の被害状況**を想定。市災害対策本部と各防災関係機関が連携し、各種災害への対応策を講じる場も設定

特色②

実際の・実践的な防災訓練の実施

現在、保有する**装備**を活用駆使して、情報伝達・災害対応を実施。また、状況の設定はできるだけ実際的になるように、**一部当日発表する状況**を準備し、実践的な訓練を実施

特色③

昨年度の意見を反映した訓練

「**来年度はより多くの市民の参加を**」との昨年度の訓練講評を受け、広い訓練会場を選定し、市内各自主防災会・地元小学校等へ広く参加を呼び掛け、共助訓練の参加数の向上を図る

平成26年度津市総合防災訓練の概要①

実働訓練 参加機関・訓練内容

市・各防災関係機関

災害対策本部設置運営訓練

情報収集訓練

倒壊家屋救出訓練

土砂災害救助訓練

事故車両救出訓練

応急救護所訓練

後方支援病院への搬送訓練

炊き出し訓練



その他機関

災害ボランティアセンター設置運営訓練

情報収集訓練

障害物除去訓練

遠距離放水訓練

応急救護所訓練

物資搬送訓練

医療資材搬送訓練

土砂倒壊家屋救出訓練



住民・自主防災協議会等

避難訓練、避難所運営訓練

災害時要援護者避難訓練

傷病者救出訓練

災害時要援護者搬送訓練

資機材取扱訓練

※赤色表記は、訓練特色の反映

平成26年度津市総合防災訓練の概要②

体験・展示コーナー、啓発ブース

防災体験コーナー

消火器体験
AED取り扱い体験
煙体験
地震体験



防災関係機関車両展示

航空自衛隊白山分屯基地
国交省三重河川国道事務所
三重県防災対策部
三重県企業庁
NTTドコモ東海支社三重支店
中部電力(株)津営業所

参加機関防災啓発ブース



平成26年度津市総合防災総合訓練参加機関①

参加予定
機関・人数

53機関 約800人

昨年度の参加機関・人数 43機関 約600人

参加機関
(防災関係)

34機関

津市自主防災協議会、津市婦人防火推進委員会、津市ボランティア協議会、津市身障者福祉連合会、津市社会福祉協議会、津市民防災大学、**三重さきもり倶楽部中勢支部**、みえ防災コーディネーター津ブロック、津市消防団、(社)津地区医師会、(社)久居一志地区医師会、(社)津歯科医師会、(社)**津市薬剤師会**、(社)**三重県看護協会**、(独)三重中央医療センター、(大)三重大学医学部附属病院、日本赤十字社三重県支部、三重県立こころの医療センター、(医)**津看護専門学校**、国土交通省三重河川国道事務所、自衛隊三重地方協力本部、陸上自衛隊第33普通科連隊、航空自衛隊笠取山分屯基地、航空自衛隊白山分屯基地、海上保安庁四日市海上保安部、**三重県防災航空隊**、三重県警察航空隊、**三重県警察交通機動隊**、中部管区警察局情報通信部、三重県津警察署、三重県企業庁中勢水道事務所、三重県津地域防災総合事務所、津市水道局、津市消防本部

※赤字表記は、新規参加機関

平成26年度津市総合防災総合訓練参加機関②

参加機関 (災害応援協定 締結団体等)

19機関

(株)NTT西日本三重支店、(株)NTTドコモ東海支社三重支店、中部電力(株)、(一財)中部電気保安協会、東邦ガス(株)三重チーム、三重県レッカー事業協同組合、災害ボランティアアマチュア無線津、三重パラモータークラブ、(社)ジャパンケネルクラブ、(株)イオンリテール津SC、**(特非)コメリ災害対策センター**、赤帽三重県軽自動車運送協同組合、**(株)伊藤園津支店**、津造園建設業組合、**(社)三重県獣医師会津支部**、(公社)三重県公共嘱託登記土地家屋調査士協会、**(社)日本非常食推進機構**、津市国際交流協会、**(特非)あのをスポーツクラブ**

※赤字表記は、新規参加機関



社会資本整備総合交付金 都市防災総合推進事業について



平成26年11月4日

都市防災総合推進事業の概要 （国土交通省所管事業）

概要

密集市街地に代表される防災上危険な市街地の防災性を図ることを目的に、危険度判定調査等のソフト対策から、建築物の不燃化、避難地・避難路の整備等のハード対策まで、多種多様なメニューより、総合的に防災対策を支援

目的

- ▶ 地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策
- ▶ 事前防災・減災対策の取組み
- ▶ 地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援
- ▶ 南海トラフ地震により津波被害が想定される地域において整備される避難路及び防災まちづくり拠点施設に交付

都市防災総合推進事業の概要

事業 メニュー

- ①災害危険度判定調査
- ②住民等のまちづくり活動支援
- ③密集市街地緊急リノベーション事業
- ④地区公共施設等整備
- ⑤都市防災不燃化促進
- ⑥地震に強い都市づくり緊急整備事業
- ⑦被災地における復興まちづくり総合支援事業

津市 交付 対象

平成26年度対象

「④地区公共施設等整備」で防災まちづくり拠点施設の整備
交付金交付率:1/2、(用地費:1/3)

平成27年度以降対象

「①災害危険度判定調査」で地震防災マップの作成(交付金交付率1/3)
「④地区公共施設等整備」で防災まちづくり拠点施設の整備
交付金交付率:1/2(用地費:1/3)

平成26年5月22日付けで交付決定

津市交付対象事業計画

(単位:千円)



整備内容	事業メニュー	整備内訳	国費率	H26		H27	H28	H29	計
				事業費 (予算額)	補助額	事業費 (予定)	事業費 (予定)	事業費 (予定)	
Ⓐ 福祉避難所飛散防止フィルム貼付 (北部市民センター、西部市民センター)	④地区公共 施設等整備	効果促進 事業	1/2	5,000	61,000				5,000
Ⓕ 避難所の整備 (南が丘会館)	④地区公共 施設等整備	建設	1/2	135,556					135,556
Ⓒ 津波避難用外付け階段等の設置 (さくら児童館)	④地区公共 施設等整備	設計・建設	1/2	8,974					8,974
Ⓓ 津波避難用外付け階段等の設置 (高洲会館)	④地区公共 施設等整備	設計・建設	1/2	15,316					15,316
Ⓔ 津波避難用外付け階段等の設置 (殿木集会所)	④地区公共 施設等整備	設計・建設	1/2	7,296					7,296
Ⓖ 津波避難施設の整備 (防災物流施設)	④地区公共 施設等整備	用地	1/3	40,528					40,528
		建設	1/2	75,498		450,000			525,498
【津市全域】地震防災マップ作成 ※補助は沿岸部のみ対象	①災害危険度 判定調査	調査	1/3			14,000		14,000	
Ⓖ 避難所等の整備 (仮称)半田防災コミュニティセンター	④地区公共 施設等整備	設計・建設	1/2				20,000	300,000	320,000
Ⓘ 本庁舎非常用発電施設高所化	④地区公共 施設等整備	設計・建設	1/2				10,000	200,000	210,000
合計				288,168	61,000	464,000	30,000	500,000	1,282,168

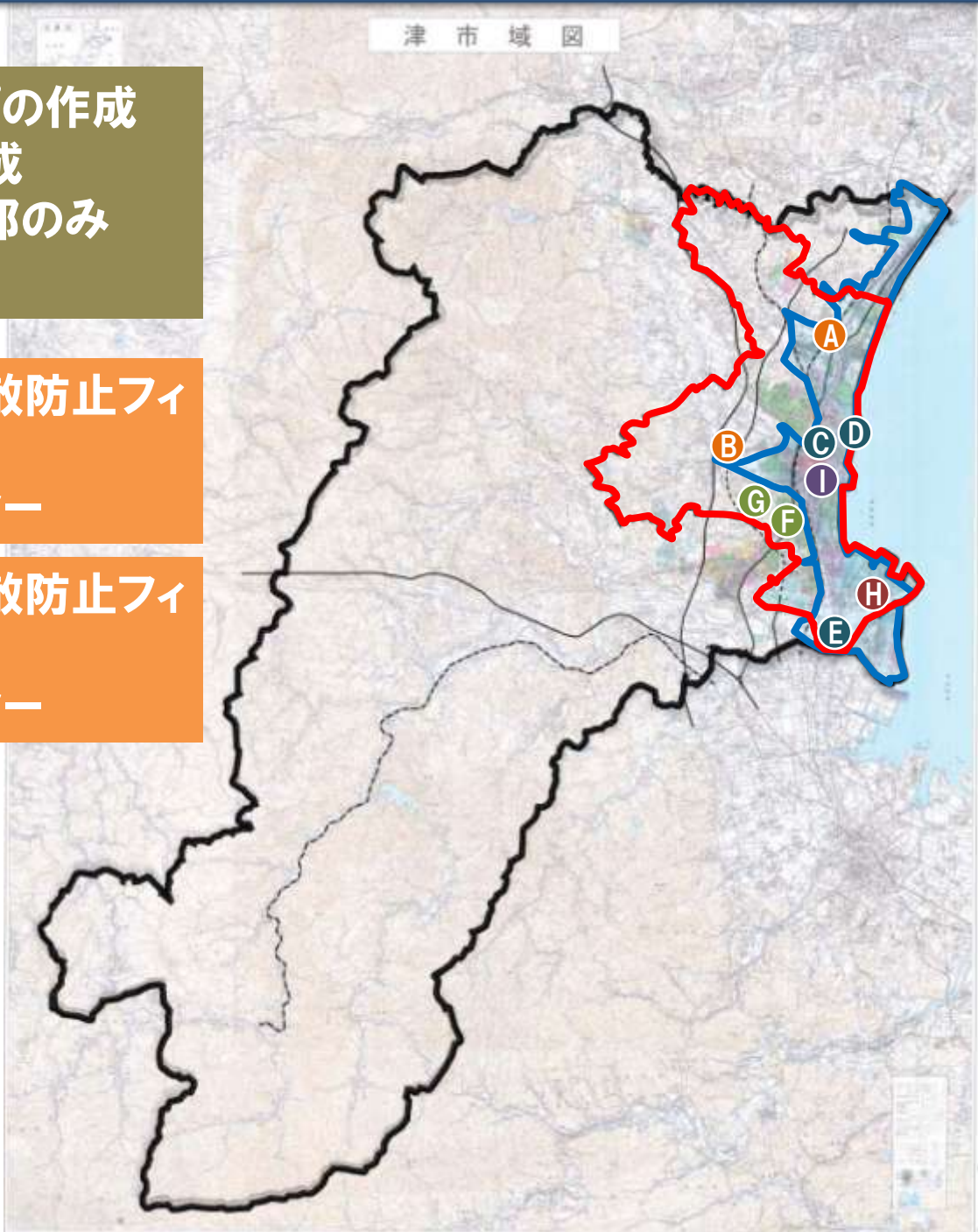
津市交付対象事業の内容と位置図

■地震防災マップの作成
 ※津市全域作成
 ※補助は沿岸部のみ対象

①福祉避難所飛散防止フィルム貼付
 北部市民センター

②福祉避難所飛散防止フィルム貼付
 西部市民センター

凡例	
	事業地区 (津地区)
	東海、東南海、南海地震が同時発生 (M9.0) 津波浸水予測区域 (H23.10三重県)



③津波避難用外付け階段等の設置
 さくら児童館

④津波避難用外付け階段等の設置
 高洲会館

⑤津波避難用外付け階段等の設置
 殿木集会所

⑥避難所の整備
 南が丘会館

⑦避難所の整備
 (仮称) 半田防災コミュニティセンター

⑧津波避難施設の整備
 防災物流施設

⑨本庁舎非常用電源施設等の高所化
 受電設備移設 一式
 非常用自家発電設備移設 一式

平成26年度事業 避難所の整備①

福祉避難所として活用することとしている **北部市民センター**・**西部市民センター** の窓ガラスに **ガラス飛散防止フィルム** を 貼付

事業費(予算額) 500万円



西部市民センター(野田)



北部市民センター(栗真中山町)

平成26年度事業 避難所の整備②

災害時における避難所の確保、災害時における共助の根幹をなす
地域コミュニティの場として **南が丘会館** を **増築**

事業費(予算額) 1億3,555万6千円



**南が丘会館西隣に建設中
10月23日撮影**

工事期間

**平成26年7月28日～
平成27年1月19日(予定)**

供用(利用)開始日

平成27年3月1日(予定)

平成26年度事業 市有施設への津波避難用外付け階段の設置

屋上を避難スペースとして活用が可能な市有施設(さくら児童館・高洲会館・殿木集会所)に屋上までの外付け階段を設置

事業費(予算額) 3,158万6千円



さくら児童館(中河原)
事業費 897万4千円



高洲会館(高洲町)
事業費 1,531万6千円



殿木集会所(雲出島貫町)
事業費 729万6千円

津波避難ビルとして
市営住宅の活用事例
(平成25年度事業)



整備前



整備後

津波避難ビル等の指定がない空白地帯
の解消のため市営住宅(白塚団地)に
外付け階段、屋上フェンスを設置

平成26～27年度事業 津波避難施設の整備

雲出伊倉津町内に大規模災害時に緊急物資を一時的に集約・保管し、市内各地の避難所へ配送する **防災物流施設** を **整備**

平成26年度事業費(予算額) 用地取得費 4,052万8千円
建設費 7,549万8千円



平成25年度

設計

平成26年度

用地買収、
造成・道路改良工事

平成27年度

建築工事
平成27年度末完成予定

平成28年度

平成28年4月
供用開始予定

平成27年度事業計画(申請予定事業)

津波避難施設(防災物流施設)整備

平成26年度からの継続事業



平成27年度事業費(予定)
建築費 4億5,000万円

平成27年度末
完成予定

平成28年4月
供用開始予定

地震防災マップの作成(災害危険度判定調査)

平成27年度申請予定事業

南海トラフ巨大地震に基づく被害想定を受け、
新たな想定に基づき、全市域を対象とした
ハザードマップ(地震防災マップ)を作成

平成27年度事業費(予定) 1,400万円



平成28・29年度事業計画(申請予定事業)

避難所等の整備【(仮称)半田防災コミュニティセンター】

現在の津斎場の跡地に、災害時における避難所、また共助の根幹をなす地域コミュニティの場として、(仮称)半田防災コミュニティセンターの整備を計画

平成28・29年度
事業費(予定)
3億2,000万円

整備予定
スケジュール

平成28年度

設計

平成29年度

建設工事

平成30年度

平成30年4月
供用開始予定

市本庁舎非常用電源施設等の高所化

津波浸水、ゲリラ豪雨などの集中豪雨による浸水などに対応できるよう、現在、市本庁舎地下にある、受電設備及び非常用自家発電機設備を屋上に再設置し、電源を確保

平成28・29年度事業費(予定) 2億1,000万円



受電設備



非常用自家発電機設備

2014鎮江国際友好都市 友好交流大会に出席



平成26年11月4日

鎮江市長からの招へい

津市と鎮江市は、1984(昭和59)年6月11日に友好都市を
提携し、今年30周年を迎える

平成26年11月10日
～12日に「2014鎮江
国際友好都市友好交
流大会」が開催

同大会にあわせ、
津市との友好都市
提携30周年をお祝い

鎮江市長から届いた招へい状

鎮江市人民政府

邀请函

尊敬の前々津市市長阁下:

在春暖花开美好季节,特诚挚邀请贵市以及贵市组织代表来镇访问,参加计划于2014年11月10日(周一)至12日(周三)举办的“2014镇江国际友好城市友好交流活动”(具体方案附后)。

1984年以来,我市先后与日本三重县津市、美国亚利桑那州坦佩市、韩国全罗北道益山市等11个国家的14个城市缔结为国际友好城市,此外还有10余个国际友好交往城市,多年来,通过开展多种形式的友好往来,为增进相互间理解与友谊,促进共同繁荣作出了积极贡献。

为如期总结国际友好交流成果,借鉴学习各城市在促进城市可持续发展的成功经验,共同谋划面向未来的共同发展,拟于2014年11月10日(周一)至12日(周三)在贵市举办以“生态城市可持续发展的机遇与挑战”为主题的“2014中国镇江国际友

好城市交流大会”,并借此机会,庆祝我市与日本国津市友好30周年、与美国坦佩市缔结25周年、与韩国全罗北道益山市缔结10周年。

届时,我们将邀请来自美国、俄罗斯、德国、加拿大、法国、意大利、英国、瑞士、日本、匈牙利、奥地利、韩国、马来西亚等国家约20余个国际友好城市的行政、工商以及民间人士来镇参加。

我热切地期待贵市领导莅临镇江指导。

顺祝敬好。

鎮江市市長
朱曉明

二〇一四年五月三日

出席の目的

- ▶ 鎮江市市長との会見
- ▶ 大会開幕式での津市のまちづくり紹介
- ▶ 鎮江市の新たな都市開発の視察

出席の意義

互いのまちづくり
を学びあい、
高めあう関係に

2014鎮江国際友好都市友好交流大会には、
8カ国12都市から約100名が参加予定

日本……倉敷市

アメリカ……テンピ市

ドイツ……マンハイム市

韓国……益山市、釜山江西区

マレーシア……クチン市

オーストラリア……フェアフィールド市、ジーロング市

フランス……ミュルーズ市

ロシア……エレクトロスターリ市、スターブロポリ市

津市代表団出席者・訪問日程

出席者
(5名)

津市長

津市市民部長

津市環境部長

津市農林水産部長

津市秘書課主幹

訪問日程

11月10日(月)

津市～鎮江市

11月11日(火)

鎮江市市長との会見

2014鎮江国際友好都市友好交流大会開幕式

経済開発新区の視察

鎮江市政府主催歓迎レセプション

11月12日(水)

鎮江市～津市

その他の訪問団(市民団・津市議会代表団)

第31回津市 友好訪中市民団

11月7日～12日

19名(市民:18名 + 随員:1名)
2014鎮江国際友好都市友好交流大会
に参加するほか、鎮江三山、福建省廈門
(アモイ)、福建土楼を訪問

事業主催 津市国際交流協会・津市



津市議会代表団

11月10日～12日

5名

津市・鎮江市友好都市提携30周年記念事業(実施済)

津市・鎮江市友好交流写真書画展

平成26年6月11日～15日

写真、絵画、書、工芸品・交流記念品など155点を展示(うち鎮江市から写真50点を出展)

鎮江市青少年卓球訪日団の招へい

平成26年8月20日～25日

選手6名(小学6年生)ほか、総勢10名が鎮江杯争奪卓球大会に参加し、卓球を通じた交流

鎮江市江蘇大学友好訪日団の招へい

平成26年8月27日～9月2日

江蘇大学外国語学院日本語科教師、学生総勢10名が三重大学生と交流を行ったほか企業を訪問